

遠隔講習でプロが技直伝

障害者ら菓子作り挑戦

障害のある人らを対象に、一流パティシエ ドバンド回線などでつなぐ「遠隔講習」を試
 が洋菓子業界で活躍する人材を育てる「神戸 行。神戸市東灘区魚崎浜町の日清製粉東灘工
 スウィーツ・コンソーシアム(KSC)」の 場では、4人が映像を見ながら調理に取り組
 講習会が21日、神戸、東京など4会場が開か んだ。
 された。今回は初めて東京と各会場とをブロー

(石沢菜々子)

神戸などのブロードバンドで結び

4 会場
 KSCは障害者の就労を支 (竹中ナミ理事長) と製菓業
 援する同区の社会福祉法人 界が協力し、2年前に神戸で
 「ブロード・ステーション」 始まった。

全国に広めようと、昨年か
 ら東京で開き、今年も5月に
 開講。より多くの人に学んで
 もらうため、今回から総務省
 の「ブロードバンド・オーブ
 ンモデル実証実験」も兼ねる
 ことにした。

講習は、オーストラリア政府
 が公認する「製菓マイスタ
 ー」の称号を持つ製菓会社
 モロゾフの八木淳司さんから
 東京で指導し、各会場と交
 信。参加者は、ボランティア
 のシェフらの協力を得て、夏
 らしいオレレンジとココナツの
 ジュレ(ゼリー) 作りに挑戦
 した。

神戸の参加者4人のうち、
 2人は2年前の講習の修了
 生。講習を機に作業所で洋
 菓子販売を始めたという内
 海友人さん(35) 神戸市北区
 は「おいしいものができる
 と達成感がある」と話してい
 た。



映像が流れる中、ボランティアのシェフの話を真剣な表情で聞く参加者ら。日清製粉東灘工場